

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名		02	治山事業
		根拠法令・例規等	森林法、地すべり等防止法
		問 担当課(室)	農林水産課
		合 職・氏名	係長 藤森亨
		先 電 話	0869-64-1830
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	森林所有者、山地近隣住民
目 的 (何のために)	森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から市民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成を図る
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	山地災害の未然防止及び林地荒廃の防止

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	単独事業	山地を対象とし、森林の維持及び災害の未然防止を目的として施設の整備、修繕を行う	
	治山施設維持管理事業	治山施設の維持管理	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		2,731	0	497	
	必要人員(人件費)	千円	0.22人	1,355	0.11人	796
	事業費計		4,086	796	813	
	国県支出金		1,200			
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源		2,886	796	813		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
単独事業	説明	治山施設等の維持修繕工事等				
結果指標	結果指標量	事業	1	0	2	
	対前年比%		-	0.0%		
	活動コスト		845,750	703,000	790,280	
	単位当たりコスト	円	845,750	703,000	395,140	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
年度内完成率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
成果指標設定の考え方・式や説明					
年度内完成箇所数 ÷ 年度内計画箇所数					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成22年度については、予定箇所は無いが、市民からの要望等により現地調査を行い、緊急性及び費用対効果等を検討し、随時事業を実施していく。					

総合評価	
当該年度については、2箇所事業を実施したが、今後も市民からの要望等により現地調査を行い、緊急性及び費用対効果等を検討し、迅速に対応していく必要がある。また、県営治山事業等の補助事業の採択要件に該当する場合には、県と協議を行い事業を推進していく。	評価区分 <A-E> <b>C</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市民からの要望等により、治山施設の維持補修等を主体に、緊急性及び費用対効果等の検討を十分に行い、随時事業を実施していく必要がある。また、県営治山事業等の補助事業の採択要件に該当する場合には、県と協議を行い事業を推進していく。					

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標

